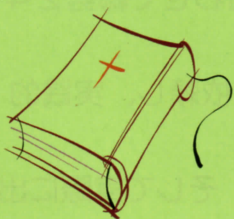


# MB伝道ニュース <特別号>



## 開拓ビジョンを語る【7】



藤井義生牧師：長瀬キリスト教会  
(EBS 学生監)

### 『開墾伝道者のススメ』

「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」(ヨハネ15:5)

正直「開拓」という言葉を聞くと、尻込みする。そのような元気がない。成功する自信もない。また、その言葉にも多少抵抗を感じる。「開拓」は第一に英雄的言語である。合衆国の西部開拓のカッコいい保安官を想像する方も多いであろう。しかし、開拓伝道が英雄的で、既成教会のそれはカッコよくないのであろうか。私はそうは思わない。第二にこの言葉は征服的言語である。少し前に北海道の野球球団が「開拓者」の言葉を用い、被征服者の経験をしたアイヌ団体から抗議を受けたそうだ。言葉を使う方に悪気はないと思う。しかし、私たちがキリスト者であるならば相手の立場を考える感性を磨いておく必要があるであろう。

一方で「開墾」という言葉には英雄的イメージがない。そこには保安官のハットや銃はなく、農夫の麦わら帽子、タオル、鍬(くわ)がある。またこの言葉には、征服的感覚が少ないように思う。むしろ、人々への奉仕の匂いがする。人文地理辞典によると開墾とは「山林・原野を切り開いたり、地沼・海面を干拓して耕地へと地類を変換すること」とある。そうだ、私たちのすることは、誰もいたがらない霊的不毛の地にとどまり、それを開墾して耕地に変えることなのだ。

聖書を開くと、「行け」とか「全世界に」とか書いてあるので、ビビってしまう。しかし、私が求めていた言葉もあった。それは冒頭の聖句にある「とどまる」という言葉である。そうだ、私たちは行く前に主イエス様にとどまる必要があるのだ。主イエス様にとどまっていれば、この世の(場合によっては教会の)評判を求める心も消え去っていくであろう。また、何年も収穫がなかったとしても粘り強く開墾をすることができるであろう。そして、無理なく、また疲れ果てることなく「行く」こともできるようになるのではないか。

今週平日に教会のトイレ掃除をした人、誰もいない会堂で週報を印刷した人、わざわざ教会のゴミを出してくれた人、求道者を訪問して相手が留守で帰って来た人。本当にありがとう。あなたは、立派な開墾伝道者です。

## 「個人伝道トレーニング講座」レポート

田畑雅紀師:伝道委員会委員長



9月24日(土)、25日(日) 尼崎キリスト教会を会場として、個人伝道トレーニングを行いました。MB諸教会から17名の参加者と、講師・スタッフ・応援の学生を合わせて総勢24名となりました。

今回は、キャンパスクルセードのフタッフに依頼し、実践的個人伝道のトレーニングでした。

KGP (Knowing God Personally/4つの法則) というツールの使い方を学び、そして実際に出かけて行って福音を伝えます。ほとんどの参加者が、町中で直接声を掛けて福音を聞いてもらう体験は初めてでした。ドキドキと不安でしたが、経験者とペアーになって12組ほどのメンバーが、公園やモールや駅前などのベンチに腰掛けている人に話しかけました。聞いてもらえるのは、10回の内1回だけであったとしても、参加者は神様が確かに働いて、福音が届けられる体験をしました。

主に感謝です。！！



## 「家の教会」シリーズ#1

田畑雅紀牧師:いずみホープチャペル

これから、5回に分けて「家の教会」の取り組みを紹介します。これは、「日本家の教会ミニストリー」が提供しているものです。「家の教会」とは、魂の救いと弟子作りによる初代教会の回復を目指す実践の場です。そこでは、核となる信徒夫妻が牧者(リーダー)となり、家を開放し、食事を共にし、生活のレベルでの分かち合いと執りなしの祈りを通して、宣教と交わりがなされます。日本の多くの教会が閉塞感を持っている時代にあって、効果的な宣教方策であると確信しています。いずみの教会でも、取り組みを始め、いくつかの牧場(家庭での集まり)がVIP(新しい人)の救いのために仕えています。すでに、MBの牧師も8名ほどが「牧会者対象セミナー」に、何名かの信徒の方々も「信徒対象セミナー」に参加しています。次回から、このセミナーに参加した牧師が順次、「家の教会」の恵みを紹介していきます。ご期待ください

告  
知  
板

伝道委員会では地域教会への励ましと交流の機会として  
キャラバン伝道隊受け入れ教会を募集しております。奮ってご応募  
お待ちしております。共にキャラバン伝道をしませんか？

\*編集後記\*

☆今回から新シリーズ“家の教会”が始まりました。ご期待ください。

☆皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

発行:日本メノナイトブレザレン教団 伝道委員会

〒563-0038 大阪府池田市荘園2丁目1-12 TEL:072-762-5731

発行者:田畑雅紀(伝道委員長)

編集者:河野和雄(広報担当)